

コミュニティ・ニュース

発行所 藤枝
中学校区学校
運営協議会
事務局

はごろも夢講演会



6月28日(金)、藤枝中学校体育館を会場に『はごろも夢講演会』が開催されました。全校道徳の時間として『郷土の伝統文化の尊重、郷土を愛する態度』を目的に開かれたこの講演会には、藤枝大祭

連合会中澤会長、秋田前連合会会長、三味線奏者の杵屋栄次郎様、長唄師の杵屋喜沙羅様に参加していただきました。来年の藤枝大祭りを前にして、勧進帳を生演奏で鑑賞する生徒達の感動的な表情が印象的でした。

地域福祉懇談会



7月11日(木)、

西刀(せと)から 助宗へ

稲葉地区助宗が現在の名前に変わったのはなぜなのでしょう。助宗地区は奈良時代を中心須恵器を作っていたことから西刀(せと)と呼ばれていました。鎌倉時代、後鳥羽上皇の番鍛冶をしていた京都の五条大橋の近くに居を構えていた五条助宗が、現在の大井神社の

コラム

西側に刀鍛冶の工房を開いたことから助宗という地名に変わったと一部の人々の間に伝わっています。その後、島田地区に拠点を移し島田鍛冶として今川家の武器を大量に生産していたと思われる助宗という名前は、現在に受け継がれているのです。

藤枝地区交流センターを会場に、今年度の第1回地域福祉懇談会が開かれました。『ふれあい支え合う、元気なまち藤枝地区をめざして』をテーマに、藤枝地区社協企画委員を中心に自治会長、町内会長、民生委員、児童委員、保健委員、サロなどから参加している方々が熱心に意見交換をしました。6月に分かれたグループでの話し合いでは、小中学生を含めた様々な世代が共に活動することの重要性などの意見が出ました。

入場者9640人



7月13日(土)、藤枝MYFCのホームグラウンドに愛媛FCを迎えた試合は、藤枝MYFC創設15周年の記念試合として10000人の来場者を目標に行われました。当日配布された藤色のユニフォームをデザインしたTシャツを着て、子供から高齢者まで様々な世代が心を一つにしてい

応援する光景は圧巻でした。来年に実施予定の藤枝大祭りと同じように多世代の交流が街作りには重要だと思います。藤枝中学校区にある大きな教育資源だと実感しました。

ふれあい運動の意義



毎月25日を基本に地域の方々や保護者、学校関係者により、令和3年10月から実施されている『ふれあい運動』。毎回260本もののぼり旗と52箇所にも及ぶ見守りポイントで実施されている地域と学校による協働活動です。見守る大人たちと見守られる子どもたちが一瞬でも触れあうことでお互いの顔を覚え、親しみをもちつていく機会にもなっています。事前に決められた方々が見守り活動をすると思いますが、子どもたちとの触れ合いを求めている多くの方々に、ぜひご参加頂きたいと思っています。